

心の通った温かい街づくりの推進  
～みんなが愛せる足立区をクリエイト～

足立区議会議員



勇気と情熱

しかはま昭



## 第3回定例会 本会議にて代表質問！

平成24年9月21日(金)足立区議会自由民主党・副幹事長として、代表質問をしました。

「区民の皆様が、安心して暮らせる街づくりについて」約 50 分間、熱い思いで執行機関に訴えました。

内容(質問事項)は下記のとおりです。



### 1) 行政改革について

財政硬直化が一段と進む中、技能労務系職員の退職不補充で、職員定数を削減して、区民サービスに必要な財源を生み出してきたが、今後はどのようにして、定数削減・人件費の圧縮をしていくのか？

「答弁内容」指定管理者制度等の官民協働のサービスを推進し、戸籍等新たな外部化手法導入を行います。また、「日本公共サービス研究会」では、聖域を設けることなく、適正化を図っていきます。

### 2) 防災・減災・発災後の対策について

H26～H35 の10年間、住民税均等割額を500円増額して、復興財源にすると聞いているが、どのような予算・規模で行うのか伺う？

「答弁内容」予算は20億円で、1) 木造住宅の耐震改修工事の助成金の上乗せ 2) 区立公園に防災の井戸、災害緊急トイレ、ソーラーLED灯照明をセットにして50箇所整備します。

### 3) 町会・自治会に防災備蓄物品を常設し、加入率アップを図れ

災害があった場合、頼りになるのは身近な存在の町会や自治会である。加入率の低下により、地域の連携などが心配である。町会・自治会会員が心強いイメージを持てるように、会館等に備蓄物資を常設し、加入率のアップを図っていただきたい。

「答弁内容」備蓄体制を図ることは、地域における「共助」の柱としての役割を担い、加入率の向上にもつながるものと期待します。備蓄場所の確保や配置の仕方、適正な管理方法等の仕組みづくりを含め、前向きに検討してまいります。

### 4) 中小企業支援について

資金調達は、中小零細企業にとって、安心して事業運営を行っていくための生命線である。今後の支援についてどのように考えているか伺う。

東京商工会議所が行っている小規模事業者経営改善資金(マル経融資)の利子補給を見直すか聞いているが、この制度は、絶対に維持すべきであるが、今後の対応はどうか？

「答弁内容」H23年度は、2,800件の融資あっせんの申し込みがあり、今後も重要な施策と考え設備資金・利子補給等につきましても検討してまいります。また、マル経融資につきましても現在の利子補給制度を継続してまいります。

### 5) 高齢者対策について

足立区でも超高齢化が進み、H30年には高齢化率が25%になると予測されている。地域で元気に住み続けるために、どのような対応を考えているのか伺う？また、介護保険制度も益々需要が増大し、保険料も大幅値上げとなってしまった。低所得者に対してどのような対策を講じているのか伺う？

「答弁内容」元気で住み続けるには、健康寿命を延ばす取り組みが不可欠であり、公園等を活用した介護予防事業の拡充に取り組みます。また、生きがいづくりを通じて健康増進につながる老人クラブ等の支援を強化します。介護保険料については、第一～第三の方は、一段階下の保険料を適用し、軽減制度を実施し、利用の際の負担金も10%→7.5%にしています。

### 6) 脱法ドラッグについて

千住地域の5大学に通う学生や区内の高校に通う生徒に注意を喚起し、脱法ドラッグを購入、使用しないようにする必要がある。また、千住地域で販売している業者もあるが区は把握しているのか伺う？

「答弁内容」今年5月に販売している店舗を確認しました。現在警察と共に連携を取り、販売阻止につなげていきたいと考えます。また、健康被害等を未然に防ぐよう区内大学・高校にパンフレットを持参し、注意喚起し、区ホームページなどでも、広く周知してまいります。

<裏面に続く>

### 7) エネルギーと環境対策について

当区では、計画停電が実施されたこともあり、区民の節電意識が高まっているが、電気使用量は震災前と比べどうか？また、夏に実施した「ピークカット」の取り組み結果はどうか伺う。

「答弁内容」区内7月の電気使用量は、H22年比19.6%減少です。また、ピーク時間帯の13時～16時までの使用量は、減少幅が大きくなっていることから、一定の成果がありました。

### 8) 資源化物の集団回収と行政回収の一本化について

現在、資源化物の回収を、集団回収と行政回収で行っているが、効率的にもまた、地域団体の育成や絆づくりの点からも有効ではないかと考えるが、区の見解を伺う。

「答弁内容」古紙の回収量は集団回収が行政回収の約3倍になっている現状から、地域の皆様のご理解の元、実施可能な地域から集団回収の一本化ができないか検討してまいります。そして、行政回収での費用を集団回収の助成に廻していきたい。

### 9) 公園の現状と今後の整備について

区立公園の面積は、23区中では1位であるが、どの公園も広場と遊具で構成されており、非常に似通った公園が多い。地域の状況や公園の整備状況も踏まえ、犬等が入れる公園や野球・サッカーなどができる公園・バーベキューができる公園など多種多様な特色ある公園を整備すべきであると考えが区の見解を伺う。

「答弁内容」地域住民の意向を反映して、整備を行って来た結果、似通った公園が増えてしまいました。球技やバーベキューなどができる公園を整備するには、利用者のマナー向上に加え、周辺住民の理解が不可欠ですが、地域の要望も踏まえながら、可能な限り整備に努めてまいります。

### 10) 「足立はばたき塾」について

区教育は、これまで基礎学力の下支え施策に力を入れてきたが、足立はばたき塾のような施策を組み合わせることが、学力向上にとって不可欠である。週一回の開講で力がつくのか？塾生の様子はどうか伺う。

「答弁内容」講師陣もトップクラスに担当してもらっており、塾生も大変意欲的に参加しています。お互い切磋琢磨し、偏差値も10近くも上がった子もいます。また、入塾テストに、失敗した子も、日曜補習塾で頑張っています。

### 11) 家庭訪問を小中全校で完全実施せよ

子どもたちの学力・体力を身につけさせるためには、しっかりと家庭環境と基本的な生活習慣を身につけさせることが重要である。家庭訪問は、小学校で約半分、中学校では約3分の1と聞いているが、家庭学習環境が整っているか等家庭訪問してみないとわからないことが多くある。重要性を再認識し、完全実施すべきと考えが、どうか伺う。

「答弁内容」家庭の学習環境を把握することは、学力解消するためにも重要であると考えます。校長会等を通じて、改めて家庭訪問の活用を推進していくよう指導していきます。

### 12) 学校施設の建て替え計画と新たな統合計画について

避難場所の拠点となる学校施設・体育館施設の耐震補強工事は終了しているが、その大部分は築40～50年経過し、老朽化が進んでいる。子ども達にもしっかりと教育環境が必要であり、一刻も早い建て替えが必要です。小・中学校の適正配置の次期計画を早期に公表し、保護者や地域住民の理解を得て速やかに進めていくべきである。今後の計画はどうか伺う。

「答弁内容」学校施設の更新には、約32億円の費用がかかります。ある程度のエリアを一体的に捉え、周辺校も含め適正配置・適正規模に取り組んでいます。現在、学校施設更新計画を策定中で、できる限り早期にご報告いたします。

### 13) 道徳授業の活用で「いじめ」の予防を

大津市の自殺問題が発覚してから、全国的に事件が相次ぎ、大きな社会問題になっている。いじめは、人間が集団で生活する以上、どの学級でも起こりうる可能性があるが、決して許されるものではない。心を育てることをねらいとする道徳の授業を活用し、「いじめはいやだ」「いじめをなくしたい」という実践意欲と態度を育てていくべくと思うが、見解を伺う。

「答弁内容」自他の生命を尊重し、規範意識や思いやりの心を醸成するには、道徳の時間を始めとする教育活動での働きかけが重要と考えます。引き続き、道徳授業の一層の充実・改善を図り、指導していきます。

### 14) 待機児童対策における幼稚園の活用について

区は、3歳から5歳児の待機児童対策について、「幼稚園資源の活用を図っていくというこれまでの方針に変更はない」としているが、区の重要な財産である幼稚園に、どのような具体的な活用策を考えているのか、伺う。

「答弁内容」今後は、夏休み等、長期休業中の預かり保育の実施、幼稚園の拡大及び内容の充実を図るよう支援策を検討していきます。また、周知も十分でないため、PRも強化していきます。

## しかはま昭 プロフィール

昭和31年12月21日生まれ 区立鹿浜小学校・鹿浜中学校・都立江北高校・法政大学経営学部卒

北鹿浜小学校元PTA会長・元足立区青少年委員・防災士・開かれた学校協議会委員

平成23年5月 足立区議会議員 初当選 平成24年度 産業環境委員会副委員長・災害・オウム調査特別委員会

E-mail: [sika3350@adachi.ne.jp](mailto:sika3350@adachi.ne.jp)

URL: <http://a-shikahama.jp> (鹿浜昭 検索)

しかはま昭後援会事務所

〒123-0864 東京都足立区鹿浜6-26-12

TEL/FAX 03-3857-5050